

兵庫県で採集した甲虫類の記録

内藤 隆夫

兵庫県で採集した甲虫類のうち、分布上および生態上興味ある種について報告する。なお、以下の採集者はすべて筆者である。

エンマムシ科 Histeridae

1. *Niponius obtusiceps* Lewis

ツノブトホソエンマムシ

1ex., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 3.VIII.2000
枯れ枝から得た。兵庫県下では神戸市烏原(高橋, 1991)の記録がある。

コブスジコガネ科 Trogidae

2. *Trox opacotuberculatus* Motschulsky

ヒメコブスジコガネ

7exs., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 20.VI.2000; 6exs., 同所, 29.VI.2000
少量の骨と体毛だけになった野生哺乳類の死体から得た。

コガネムシ科 Scarabaeidae

3. *Aphodius troitzkyi* Jacobson

マルツヤマグソコガネ

8exs., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 16.V.2000; 2exs., 同所, 30.VI.2000; 5exs., 朝来郡和田山町糸井溪谷, 15.VI.2000
本種は、足立(1992)により出石町奥山から、兵庫県初記録として報告された。シカ糞から採集した。

4. *Aphodius superatratus* Nomura et Nakane

トゲクロットヤマグソコガネ

7exs., 朝来郡和田山町糸井溪谷, 24.IV.2000; 10exs., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 16.V.2000
シカ糞より得た。春季に現れる種のような。

5. *Aphodius unifasciatus* Nomura et Nakane

クロオビマグソコガネ

11exs., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 4.IV.2000; 25exs., 同所, 13.IV.2000; 2exs., 同所, 16.V.2000
チャグロマグソコガネとともに春季のシカ糞に普通に見られる。波賀町付近からの報告がないようなので記録しておく。

6. *Aphodius isaburoi* Nakane

チャグロマグソコガネ

42exs., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 4.IV.2000; 16exs., 同所, 13.IV.2000; 5exs., 同所, 16.V.2000; 40exs., 朝来郡和田山町糸井溪谷, 24.IV.2000
篠山町から記録したが(内藤, 2000a)、その後広域から多数採集できた。県下のシカ生息地の多くに分布するものと予想される。

7. *Pollaplonyx flavidus* Waterhouse

オオキイロコガネ

8♂2♀, 宍粟郡波賀町原, 2.VI.2000
外灯に飛来した個体を採集した。発生地のおねらいを絞りにくく、成虫出現期間も短いことから採集しにくい種であるが、波賀町では坂の谷でも得られており(相馬, 1999)この付近には比較的多産するものと思われる。

8. *Gastroserica brevicornis* (Lewis)

コヒゲシマビロウドコガネ

3exs., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 2-3.VIII.2000
兵庫県では養父郡八鹿町妙見山、大屋町田淵山、篠山市篠山町雨石山から記録されている(高橋, 1996)。全国的に見ると、地域によっては必ずしも少なくない種であるが、兵庫県より西の本州では記録がないようである。灯火に飛来した個体を得た。

タマムシ科 Buprestidae

9. *Aphanisticus yasumatsui* Y.Kurosawa

ヤスマツケシタマムシ

6exs., 朝来郡朝来町上岩津, 29.VIII.2000
スゲ葉上より得た。

コメツキムシ科 Elateridae

10. *Hypoganus miyatakei* Ôhira

ミヤタケヒメツヤヒラタコメツキ



1ex., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 2-3.VIII.2000
本種は山梨県、長野県、奈良県、愛媛県、熊本県(以上は有本・水野, 1990)、愛知県(大平ほか, 1996)などから記録されている。灯火に飛来した個体を得た。

カッコウムシ科 Cleridae

11. *Isoclerus pictus* Lewis

ヨツモンチビカッコウムシ

1ex., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 2.VI.2000
カワラタケ *Trametes versicolor* のついた落枝下面より得た。他県でも数例得ているが、いずれの個体も5、6月頃にカワラタケから採集した。

12. *Neohydnus hozumii* Nakane

ヤマトヒメメダカカッコウムシ

1ex., 加古川市宗佐, 18.IX.2000
ヨシのスーピングによって得た。この場所では、ごく短時間の不十分な調査しかできていない。

13. *Allochotes dichrous* (Lewis)

ムネアカマルカッコウムシ

1ex., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 2-3.VIII.2000
灯火に飛来した個体を得た。

14. *Tenerus lewisi* Lohde ルリツツカッコウムシ

1ex., 美方郡温泉町扇ノ山, 23.IV.2000羽脱
エゾエノキの材よりホツツヤヒゲナガコバネカミキリなどととも羽化脱出した。*Tenerus* 属の他種に比べて野外で見かけることが少ないように思われ、他県でもあまり記録されていないが、エノキやケヤキの枯れ枝によく見られるとの記述もある(宝塚市教育委員会, 1993)。筆者もキムネツツカッコウムシがエノキの枯れ枝から極めて多数羽化するのを観察しており、発生している材の近くでは多く見られることもあるのであろう。

ジョウカイモドキ科 Melyridae

15. *Laius takaraensis* Nakane

ルリキオビジョウカイモドキ

1♂1♀, 加古川市宗佐, 18.IX.2000
本種は、トカラ列島での分布が知られていたが、近年になって神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、京都府などからも報告されるようになった。草間の石上やヨシの葉上から得た。



16. *Laius kishiii* Nakane
ベニオビジョウカイモドキ (左写真)

1♂1♀, 宍粟郡山崎町五十波, 16.VI.2000

本種は京都市嵐山を模式産地とし、近畿地方を

中心に分布しているものと思われる。雄第三触角節の特徴のほか、頭部の幅が狭いことにより容易に同定できる。草間の石上から得た。

オオキノコムシ科 Erotylidae

17. *Spondotriplax horioi* Nakane et Nobuchi

カタモンチビオオキノコ

15exs., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 30.VI.2000 ; 1ex., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 28.VII.2000 ; 22exs., 同所, 22.VIII.2000 ; 17exs., 同所, 28.VIII.2000

秋田・大沢(1990)には、本種の産地として福井県、東京都、愛知県、三重県、奈良県、京都府、岡山県、広島県が挙げられており、ほかにも石川県、神奈川県などから記録されている。

今回記録したもののうち、上翅肩部にある程度明瞭な淡色紋をもつ個体は数頭のみで、ほとんどの個体は全体が黒色であった。ウスヒラタケ *Pleurotus pulmonarius* から得た。

18. *Aporotritoma consobrina* (Lewis)

アカモンチビオオキノコ

1ex., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 28.VIII.2000
枯れ枝のピーティングによって得た。本種は京都北山では秋期に *Oligoporus* 属のキノコからセグロチビ、コヒゲチビ、キボシチビオオキノコとともに普通にみられる(個体数はあまり多くない)。これに対し、兵庫県西部では秋期の *Oligoporus* 属のキノコにはキボシチビオオキノコ(このなかにはアシグロチビオオキノコが含まれている可能性もある)が優占的で他の種はほとんどみかけなかった。

19. *Tritoma tanigutii* Chûjo

チャバネチビオオキノコ

5exs., 神戸市北区八多町, 29.IV.1999 ; 13exs., 篠山市篠山町小金ヶ岳, 29.IV.2000
実体のよく分からない種であったが、生川(1997)により詳しい解説がなされた。静岡県、岐阜県、三重県、大阪府、岡山県(以上は生川, 1997による)、茨城県(高野・大桃, 2000)、広島県(秋山, 1997)からの記録がある。

上記2例はいずれもエゴノキタケ *Daedaleopsis styracina* よりキベリハバビロオオキノコとともに得たものである。模式産地である箕面市でも、エゴノキタケから多数採集した。エゴノキタケは乾燥したエゴノキの立ち枯れについており、また菌そのものの含水量も少ないようで、乾燥に適応したオオキノコムシであるという印象を受ける。

20. *Tritoma rufipennis* (Lewis)

ベニバナチビオオキノコ

8exs., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 19.X.1999; 2exs., 同所, 31.X.1999; 34exs., 同所, 2.VI.2000

本種については内藤(2000b)に言及があるが、具体的なデータがないので記録しておく。

10月に採集した個体5頭を容器内で飼育したところ、翌年5月まで生存していた。また、野外でも本種およびコモンチビオオキノコ、ミツボシチビオオキノコ、トウキョウムネビロオオキノコ、ヒゴノムネビロオオキノコは、秋期に得た個体に比べ春季から夏季に得た個体のほうが明らかに体色の発現がよく、体の硬化が進んでいることから、少なくとも兵庫県西部ではこれらの種は秋期に成虫が現れ、越冬して翌夏まで生存するものと考えられた。一方、ツマグロチビオオキノコは5~7月、トモンチビオオキノコは6~8月、オオサワチビオオキノコは8~10月頃に集中的に発生しているようである。ツマグロチビオオキノコについては、6月に幼虫および体の硬化した成虫、未成熟な成虫を同時に観察している(後者のグループも越冬態は成虫ではないかと想像しているのだが)。

21. *Tritoma tripartaria* (Lewis)

カタベニチビオオキノコ

2exs., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 20.VI.2000; 1ex., 朝来郡朝来町上岩津, 29.VIII.2000

本種の県下の既知産地は、赤西溪谷であったが(内藤, 2000b)、上記の追加産地のほか扇ノ山でも目撃しており、広く分布すると思われる。

アミヒラタケ *Polyporus sequamosus*、ハチノスタケ *P. alveolaris*、アシグロタケ *P. (Polyporellus) badius*、チャミダレアミタケ属 *Daedaleopsis* のキノコなどいろいろな菌から採集している。

22. *Tritoma asahinai* Nakane

トモンチビオオキノコ

2exs., 宍粟郡波賀町赤西溪谷, 30.VI.2000; 1ex., 同所, 21.VII.2000; 1ex., 同所, 3.VIII.2000

細い立ち枯れについたハチノスタケから得た。三重県では本種をかなり多数採集しているが、それらの個体も全てハチノスタケから得たものである。本種の兵庫県下の記録を知らない。

23. *Tritoma cenchrus* (Lewis)

コモンチビオオキノコ

2exs., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 20.VI.2000; 1ex., 同所, 29.VI.2000; 1ex., 同所, 28.VII.2000

県下の既知産地は、赤西溪谷であった。ツヤウチワタケ *Microporus vernicipes* より得られた。

24. *Microsternus tokioensis* Nakane

トウキョウムネビロオオキノコ

1ex., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 16.VI.2000; 3exs., 同所, 20.VI.2000; 5exs., 同所, 29.VI.2000; 1ex., 同所, 28.VII.2000

県下の既知産地は、赤西溪谷であった。タバコウロコタケ科 *Phellinus* 属のネンドタケ *P. gilvus* の近縁菌より得た。ホストとなるキノコの量がかなり多い場所で見られる。

25. *Microsternus higonius* Lewis

ヒゴノムネビロオオキノコ

3exs., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 16.VI.2000; 10exs., 同所, 20.VI.2000; 3exs., 同所, 29.VI.2000

本種も県下の既知産地は、赤西溪谷であった。上記種と同じキノコおよびネンドタケから得た。赤西溪谷でも6月頃にチャアナタケ *Phellinus umbrinellus* と思われるキノコから多数が得られた。

ミジンクスイムシ科 Propalticidae

26. *Propalticus kiuchii* Sasaji

キウチミジンクスイ

1ex., 宍粟郡波賀町坂の谷, 5.VIII.2000

テントウムシダマシ科 Endomychidae

27. *Endomychus nigropiceus* (Gorham)

ヒラノクロテントウダマシ

3exs., 宍粟郡波賀町音水溪谷, 22.VIII.2000

チャミダレアミタケ属 *Daedaleopsis* のものと思われるキノコより得た。スエヒロタケには本種と近縁なルリテントウダマシが非常に多いが、今のところ兵庫県ではスエヒロタケで本種を見ていない。

なお、本種には *E. hiranoi* Sasaji の学名が与えられていたが、上記の学名に変更された。

テントウムシ科 Coccinellidae

28. *Hippodamia tredecimpunctata* (Linne)

ジュウサンホシテントウ

1ex., 加古川市宗佐, 18.IX.2000

ヨシをすくって採集した。県下の既知産地としては、宝塚市大原野(森, 1991)がある。また、正式な記録ではないが、建設省(1994)によれば加古川、揖保川流域で採集されており広く分布するものと思われる。

29. *Scymnus babai* Sasaji

ハバヒメテントウ

2exs., 加古川市宗佐, 18.IX.2000

ヨシをすくって得た。ヨシ原に普通の種であるが、県下では宝塚市武田尾の記録しかないようである(宝塚市教育委員会,1994)。

ホソカタムシ科 Colydiidae

30. *Neotrichus hispidus* Sharp

サシゲホソカタムシ

1ex., 兵庫県波賀町音水溪谷, 28.VII.2000
カラスザンショウ倒木の樹皮下より得た。

31. *Glyphocryptus brevicollis* Sharp

ヒサゴホソカタムシ

1ex., 篠山市篠山町小金ヶ岳, 29.IV.2000
高橋(1994)によれば兵庫県では宝塚市からの記録(宝塚市教育委員会,1994)しかないようである。5月頃に、比較的高い位置にあるやや乾燥した細い枯れ枝を叩くと得られることが多い。

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

32. *Scaphidema discale* Lewis

ウスモンツヤゴミムシダマシ

1ex., 兵庫県波賀町音水溪谷, 20.VI.2000; 1ex., 兵庫県波賀町赤西溪谷, 30.VI.2000
少ない種ではないが、高橋(1990)に記録がないので記録しておく。細い立ち枯れから得た。

33. *Ischnodactylus parallelicornis* (Nakane)

ヒラツノキノコゴミムシダマシ

1♂2♀, 兵庫県波賀町坂の谷, 2.VIII.2000
ブナ立ち枯れに生じたエビタケ *Ganoderma tsunoda* から採集した。他県でもエビタケからしか採集したことがない。主にブナ帯で得られている種で、兵庫県では美方郡扇ノ山、城崎郡三川山から記録されている(高橋,1991)。

34. *Cryphaeus boleti* (Lewis)

コブヒメツノゴミムシダマシ

1♂, 兵庫県波賀町赤西溪谷, 7.VII.2000羽脱; 2♀, 同所, 10.VII.2000羽脱
あまり得られない種で、高橋(1993)には県下の記録は挙げられていない。
カラスザンショウの細い立ち枯れより羽化脱出した。この立ち枯れからは、キイロアラゲカミキリが200頭ほど羽化してきた。

35. *Simalura coerulea* (Lewis)

ルリツヤヒメキマワリモドキ

1ex., 篠山市篠山町小金ヶ岳, 29.IV.2000

兵庫県下の記録は多くないが、波賀町付近ではかなり得られる。

36. *Strongylium japonum* Marseul

シワナガキマワリ

1ex., 兵庫県波賀町音水溪谷, 21.VII.2000
倒木上で得た。ハネナシセスジキマワリ同様に、沿海部に多産する傾向があり、県下では浜坂町あたりに個体数が多く(内藤,1999)、京都府でも舞鶴市冠島に多産することが知られている。内陸部でも照葉樹林の保存された場所には多い。

37. *Strongylium gibbosipenne* Nakane

セコブナガキマワリ

1ex., 兵庫県波賀町赤西溪谷, 7.VII.2000死体発見
高橋(1993)には、県下における本種の記録はない。コブヒメツノゴミムシダマシと同じカラスザンショウの材より羽化脱出した。発見したときには既に死体の状態であったため、不完全な標本となった。
本種に比較的類似したウスイロゴミムシダマシは、細い枯れ枝や生枝を叩くと多数得られるが、太い樹幹部で見るとは少ない。これに対し、筆者は過去に太い倒木上から本種を採集したことがあり、樹洞内から本種が得られたという報告(川田,1995)もあることから、両種が活動域を異にしている可能性も考えられる。

ナガクチキムシ科 Melandryidae

38. *Stolius vagepictus* Lewis

ヨツボシキバネナガクチキ

1ex., 篠山市篠山町小金ヶ岳, 29.IV.2000
秋期から春季に成虫が現れるようである。ミツバアケビを叩いて得た。

39. *Eumelandrya duodecimmaculata* (Nakane et

Hayashi) ジュウニホシナガクチキ

6exs., 兵庫県波賀町赤西溪谷, 2.VI.2000
西南日本に分布の中心があると考えられる種で、材から羽化したものを得ている例が多い。兵庫県では既に赤西溪谷から記録されている(芦田,1991)が、採集時の観察を含め追加報告しておく。
本種が得られたのは、最小直径4cm、最大直径15cmほどの1本のアワブキの落枝からで、本種のものと思われる飛孔もいくつかみられた。この枝は、枯死後5年ほど経過しているが樹皮は7割ほど付着し、ミヤベオオウロコタケ *Hymenochaete intricatae* かそれに近縁なタバコウロコタケ科のキノコがついていた。このキノコに対する本種の選好性の程度は不明である。本種は、枝についた上記のキノコ、樹

皮、腐朽した材部を後食し、かつ交尾・産卵していた。後食の際には、筆者が触ったため新たに傷つけられた部分に強く誘引されるのが観察された。

アリモドキ科 Anthicidae

40. *Derarimus clavipes* (Champion)

セマルツヤアリモドキ

1ex., 篠山市篠山町小金ヶ岳, 29.IV.2000

以前は産地の限られた種であったが、近年は多くの場所から記録されるようになった。県下では、神戸市摩耶山、宝塚市(宝塚市教育委員会, 1994)の記録がある。落ち葉下より得た。

カミキリムシ科 Cerambycidae

41. *Obrium japonicum* Pic

サドチピアメイロカミキリ

1ex., 美方郡温泉町扇ノ山, 19.V.2000羽脱

エゾエノキの材より、ホソツヤヒゲナガコバネカミキリ、アカネキスジトラカミキリ、ヨコヤマトラカミキリなどとともに羽化脱出した。本種のホストはヤチダモとされるが、エゾエノキからも比較的よく得られるようである。兵庫県では赤西渓谷などで採集されている。扇ノ山からの記録の有無はよくわからないが一応記録しておく。

42. *Eumecocera minamii* Makihara

ジュウモンジニセリンゴカミキリ

1ex., 宍粟郡波賀町原, 2.VI.2000

外灯に飛来した個体を得た。この個体は、前胸背板中央横位の淡色微毛帯を欠くが、広島県産の典型的な本種の標本と比較したところ、体表面の微毛の色彩およびその出現パターンはよく一致していることから本種と判断した。岩田ほか(1993)は、「鞘翅会合縁における淡色の縁取りが、わずかにまたは顕著に現れる」ことを本種の同定ポイントとして挙げ、この基準によれば京都府からのセミスジニセリンゴカミキリの記録の多くはジュウモンジニセリンゴカミキリに含まれるとしている。永幡(1997)によれば、兵庫県では村岡町、生野町、佐用町などで採集されているようである。

ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae

43. *Notioxenus wollastoni* Sharp

ケチビヒョウタンヒゲナガゾウムシ

1ex., 宍粟郡波賀町赤西渓谷, 30.VI.2000

細い立ち枯れから採集した。

44. *Habrissus pardalis* (Sharp)

シロマダラネプトヒゲナガゾウムシ

1ex., 宍粟郡波賀町赤西渓谷, 20.VI.2000羽脱

サワグルミの材よりチチブニセリンゴカミキリなどとともに羽化脱出した。高橋(1987)、高橋遺稿(2000)には兵庫県における本種の記録はなく、県下初記録と思われる。

ゾウムシ科 Curculionidae

45. *Curculio ochrofasciatus* Morimoto

キオビシギゾウムシ

2exs., 神戸市北区八多町, 29.IV.1999

エゴノキの立ち枯れより得た。兵庫県下の記録を見ない。

46. *Macrotelephae ichihashii* Morimoto

オオヒメクモゾウムシ

2exs., 宍粟郡波賀町音水渓谷, 29.VI.2000

兵庫県下の記録を見ない。

47. *Pseudohylobius setosus* Morimoto

モジャモジャツチイロゾウムシ

1ex., 宍粟郡波賀町音水渓谷, 29.VI.2000; 1ex., 同所, 28.VIII.2000

西南日本に分布の中心があると思われる種で、場所によっては必ずしも稀ではない。兵庫県下の記録はなかったものと思われる。

沢沿いのフジ枯れ幹、ケヤキ枯れ枝より得た。

48. *Trachodes simulator* Morimoto et Miyakawa

1ex., 宍粟郡波賀町赤西渓谷, 2.VI.2000; 8exs., 同所, 10.VI.2000

シロカレキゾウムシなどとともに落枝を叩いて得た。本種と近縁な *T. monticola* という種が、群馬県、長野県あたりの山地から記録されているが、筆者の手元に三重県産の標本があり、この種も西日本に分布しているようである。



49. *Acicnemis luteomaculata* Morimoto et Miyakawa

1♂ + 1ex., 宍粟郡波賀町音水渓谷, 16.VI.2000;

2exs., 同所, 30.VI.2000; 1ex., 同所, 28.VIII.2000

極く普通の種のようなものである。広葉樹枯れ枝より得られた。

末筆ながら、文献の便宜を図られた生川展行氏、

初宿成彦氏、高島昭氏に深謝申し上げる。

<参考文献>

- 足立義弘(1992) 野生鹿の糞から採集した食糞性コガネムシ IRATSUME(15,16): 45-46.
- 秋田勝巳・大沢省三(1990) カタモンチビオオキノコとキオビチビオオキノコについて 月刊むし(237): 17-19.
- 秋山美文(1997) 広島県産甲虫の分布記録(4) 比和科学博物館研究報告(35): 151-182.
- 有本久之(1988) 長野県のコメツキムシ まつむし(77): 1-34.
- 有本久之・水野弘造(1990) 奈良県産コメツキムシ科甲虫記録 KINOKUNI(37): 1-30.
- 芦田久(1991) 兵庫県におけるジュウニホシナガクチキの記録 月刊むし(239): 39.
- 岩田ほか(1993) 京都府のカミキリムシ 関西甲虫談話会資料(5)
- 川田一之(1995) セコブナガキマワリの神奈川県における記録 月刊むし(298): 10-11.
- 河上康子・稲畑憲昭(2000) 大阪湾沿岸地域における海浜・河口汽水域の地表性甲虫調査 関西甲虫談話会資料(16)
- 建設省河川治水課(監修)(1994) 平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑 陸上昆虫類調査編
- 森和夫(1991) 宝塚市西谷地区の昆虫数種について きべりはむし19(1): 20-23.
- Morimoto, K. & Miyakawa, S. (1995) The Family Curculionidae of Japan. VIII., Esakia(35): 17-62.
- 永幡嘉之(1997) 兵庫県北部におけるトホシカミキリ族の後食習性 IRATSUME(21): 1-7.
- 内藤隆夫(1999) 兵庫県におけるイトヒゲナガゾウムシの記録 月刊むし(345): 43.
- (2000a) 兵庫県で採集した甲虫数種の記録 きべりはむし28(1): 54-55.
- (2000b) 兵庫県と京都府におけるオオキノコムシ科の記録 月刊むし(349): 26-28.
- 仲田元亮(1982) 増補改訂 能勢の昆虫 甲虫の部下巻
- 生川展行(1997) キベリハバビロオオキノコとチャバネチビオオキノコについて ねじればね(75): 3-6.
- 大平ほか(1996) 設楽町誌 -自然編-資料編 甲虫類
- 相馬明直(1999) 宍粟郡産甲虫の記録 てんとうむし(13): 90.
- 高橋 敏(1991) 木津川の甲虫類 京都の昆虫: 61-64. 京都新聞社
- 高橋 匡(1981) 但馬地方昆虫目録(予報第5報) IRATSUME(5): 46-58.

- (1983) 但馬地方昆虫目録(予報第5報)訂正 IRATSUME(7): 22-23.
- 高橋寿郎(1982) 兵庫県のカッコウムシ IRATSUME(6): 42-45.
- (1982) 兵庫県のジョウカイモドキ きべりはむし10(2): 18-22.
- (1987) 兵庫県のヒゲナガゾウムシ(2) 兵庫生物9(3): 153-156.
- (1990) 兵庫県のゴミムシダマシ(3) 兵庫生物10(1): 25-27.
- (1991) 兵庫県のゴミムシダマシ(4) 兵庫生物10(2): 72-74.
- (1991) 兵庫県のエンマムシ きべりはむし19(1): 1-10.
- (1992) 兵庫県のアリモドキ きべりはむし20(1): 5-16.
- (1993) 兵庫県のゴミムシダマシ(6) Crude(38): 22-33.
- (1994) ヒトクチャケとキカイガラタケおよび各種キノコにて採集した甲虫 IRATSUME(18): 65-73.
- (1994) きべりはむし22(2): 51-52.
- (1996) コヒゲシマビロウドコガネの分布について IRATSUME(20): 24-26.
- (1997) 兵庫県産ゾウムシに関する文献目録(1) きべりはむし25(2): 13-22.
- (1997) 中国山地をめぐる地域のコガネムシ相 ホシザキグリーン財団研究報告1: 205-209.
- (1998) 兵庫県産ゾウムシに関する文献目録(2) きべりはむし26(2): 1-7.
- (1999) 兵庫県産ゾウムシに関する文献目録(3) きべりはむし27(2): 47-53
- (1999) 音水・赤西溪谷(宍粟郡)の甲虫相 てんとうむし(13): 15-25.
- 高橋寿郎氏遺稿集(2000) 兵庫県のテントウムシ(2) きべりはむし28(1): 12-31.
- (2000) 兵庫県産ゾウムシに関する文献目録(4) きべりはむし28(1): 32-41.
- 高野 勉・大桃定洋(2000) 茨城県産甲虫リスト りぼし(23)
- 宝塚市教育委員会(1992) 宝塚の昆虫II
- (1993) 宝塚の昆虫IV
- (1994) 宝塚の昆虫VII

(NAITO TAKAO 寝屋川市池田3-4-13)